



株式会社メガチップス

2025年3月期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

目

次

-
1. 2025年3月期 業績報告 3
 2. 2026年3月期 業績予想 9
 3. 2026年3月期・中長期経営方針 12
-

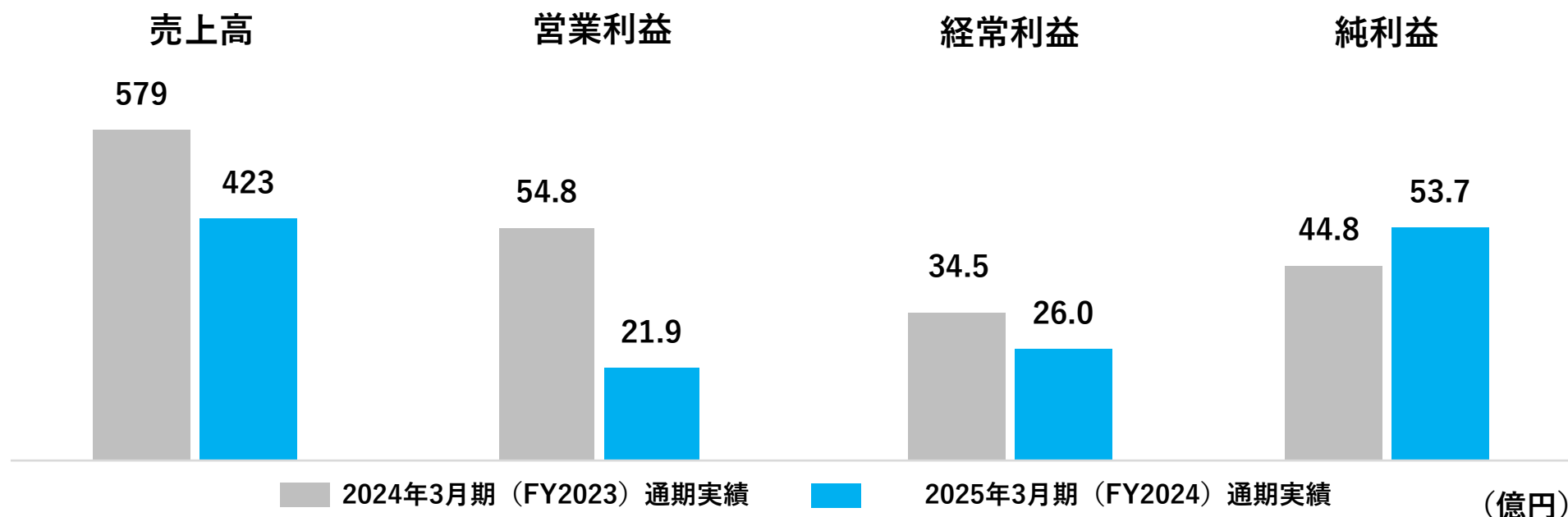
2025年3月期 業績報告

2025年3月期

連結業績（P/L）サマリー

(単位：百万円)		2024/3期 (FY2023) 通期実績	2025/3期 (FY2024) 通期実績	前年同期 差異	2025/3期 (FY2024) 通期予想数値 (2025/2/7公表)
連結	売上高	57,942	42,326	▲15,616	45,000
	売上原価	46,498	34,500	▲11,997	
	販売費及び一般管理費	5,961	5,636	▲325	
	営業利益	5,483	2,190	▲3,293	2,300
	経常利益	3,456	2,608	▲848	2,500
	親会社株主に帰属する 当期純利益	4,486	5,371	+ 885	5,000
	1株当たり利益（円）	242.30	306.27	+ 63.97	292.55
営業利益率		9.5%	5.2%	▲4.3%	5.1%
純利益率		7.7%	12.7%	+ 4.9%	11.1%
為替レート：米ドル		151.41円	149.52円	▲1.89	150.00円

2025年3月期 連結業績（P/L）詳細



売上高 前年同期比
▲156億円（▲27.0%）

- ・アミューズメント事業の需要が減少
- ・ASIC事業において、顧客の在庫調整により製品需要が減少
- ・ASIC事業の受託開発売上（NRE売上）は堅調

営業利益 前年同期比
▲32.9億円（▲60.1%）

- ・売上減による売上総利益の減少
- ・ASIC事業において、一過性の追加開発費が発生

経常利益 前年同期比
▲8.4億円（▲24.5%）

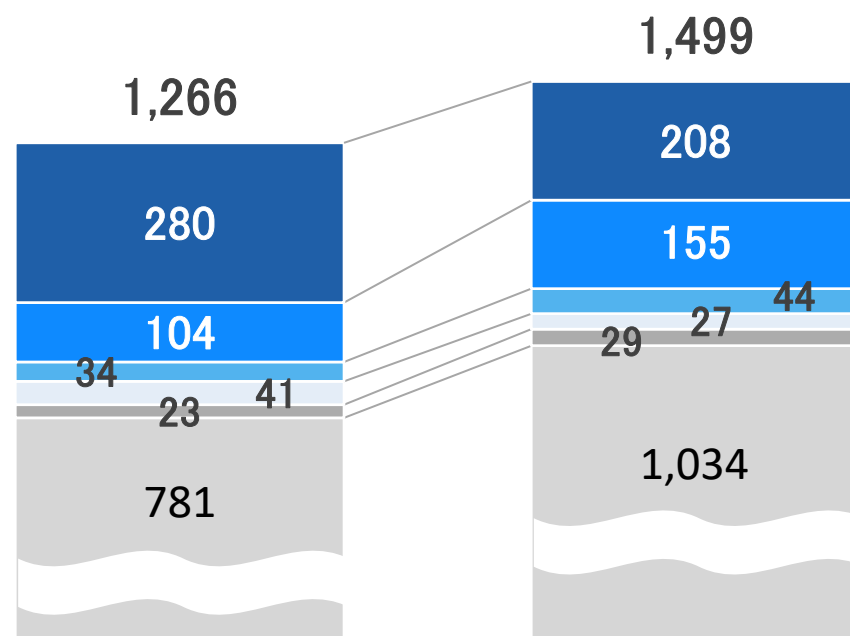
- ・営業利益の減：▲32.9億円
- ・SiTime持分法による投資損失の減：+29.1億円

純利益 前年同期比
+8.8億円（+19.7%）

- ・経常利益の減：▲8.4億円
- ・SiTime株式売却益の増：+21.8億円

2025年3月期 財政状態（資産）

（億円）



2024年3月期
(FY2023)
期末実績

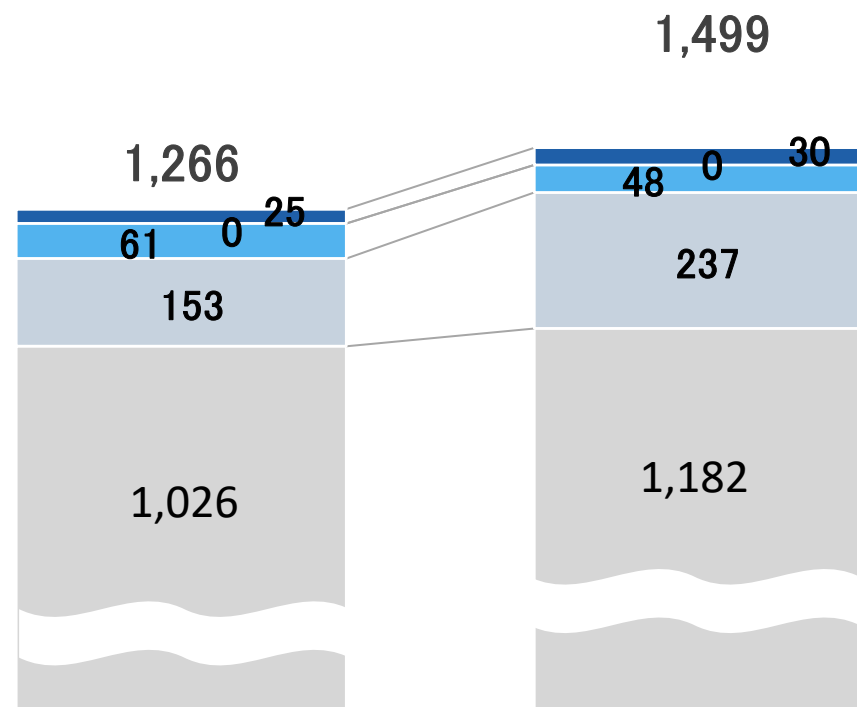
2025年3月期
(FY2024)
期末実績

(単位：億円)	増減 (FY23→FY24)	増減率 (増減÷FY23)
現金及び預金	▲72.2	▲26%
受取手形、売掛金及び契約資産	+ 50.8	+ 49%
たな卸資産	+ 9.8	+ 29%
その他の流動資産	▲13.6	▲33%
無形、有形固定資産	+5.4	+23%
投資その他の資産	+253.1	+32%

2025年3月期

財政状態（負債・純資産）

（億円）



2024年3月期
(FY2023)
期末実績

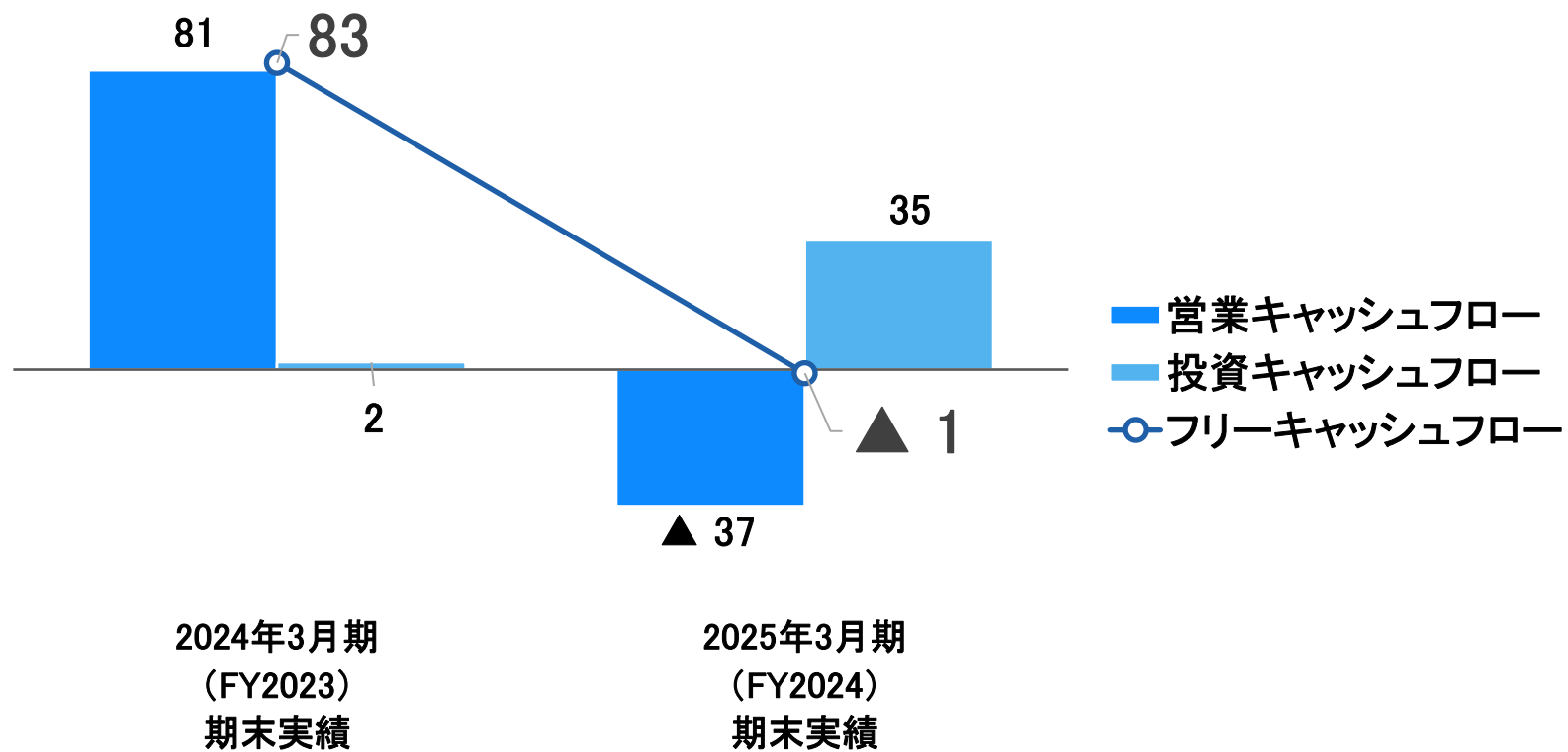
2025年3月期
(FY2024)
期末実績

(単位：億円)	増減 (FY23→FY24)	増減率 (増減÷FY23)
支払手形及び買掛金	+ 5.7	+ 23%
有利子負債	0	—
その他流動負債	▲12.2	▲20%
その他固定負債	+84.1	+ 55%
純資産	+155.6	+15%

2025年3月期

キャッシュ・フロー

(億円)



2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

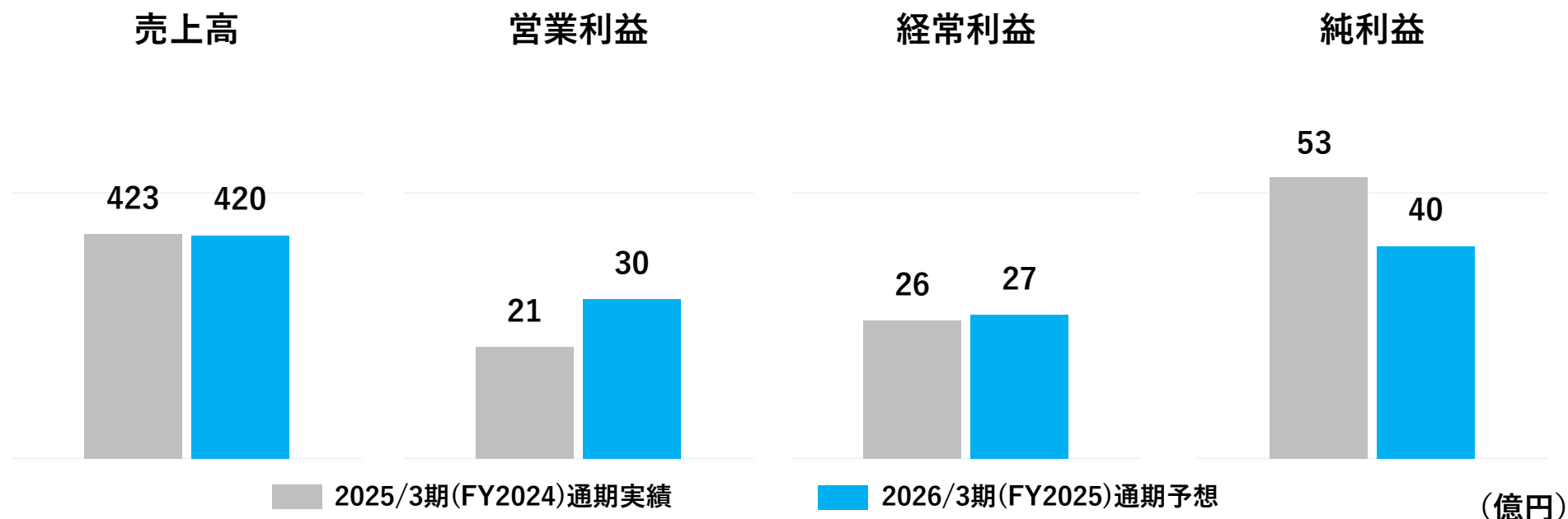
2025年度の予想ですが、アミューズメントを除くASICやASSPの製品売上が伸びていくことから、利益率は改善される見込みです。引き続き、中長期的な増収増益を目指し、既存事業の強化と新規事業の育成を行ってまいります。

(単位：百万円)		2025/3期 (FY2024) 通期実績	2026/3期 (FY2025) 通期予想
連結	売上高	42,326	42,000
	営業利益	2,190	3,000
	経常利益	2,608	2,700
	親会社株主に帰属する 当期純利益	5,371	4,000
	1株利益（円）	306.27	234.33
営業利益率		5.2%	7.1%
純利益率		12.7%	9.5%
為替レート：米ドル		149.52円	130.00円

※ 2025年3月期は、SiTime社株式の一部売却により特別利益として投資有価証券売却益77億円を計上。

※ 2026年3月期の通期予想には、SiTime社株式の一部売却による投資有価証券売却益を特別利益として、約35億円を見込んでおります。

2026年3月期 業績予想 (P/L) 詳細



売上高 前年同期比
▲3億円 (▲0.8%)

- ASIC事業及びASSP事業の製品売上が昨年度に比べて増加する見込み
- ASIC事業の受託売上(NRE)は引き続き堅調の見込み

営業利益 前年同期比
+9億円 (+8.6%)

- ASIC事業及びASSP事業の製品売上増による利益改善を見込む

経常利益 前年同期比
+0.9億円 (+3.5%)

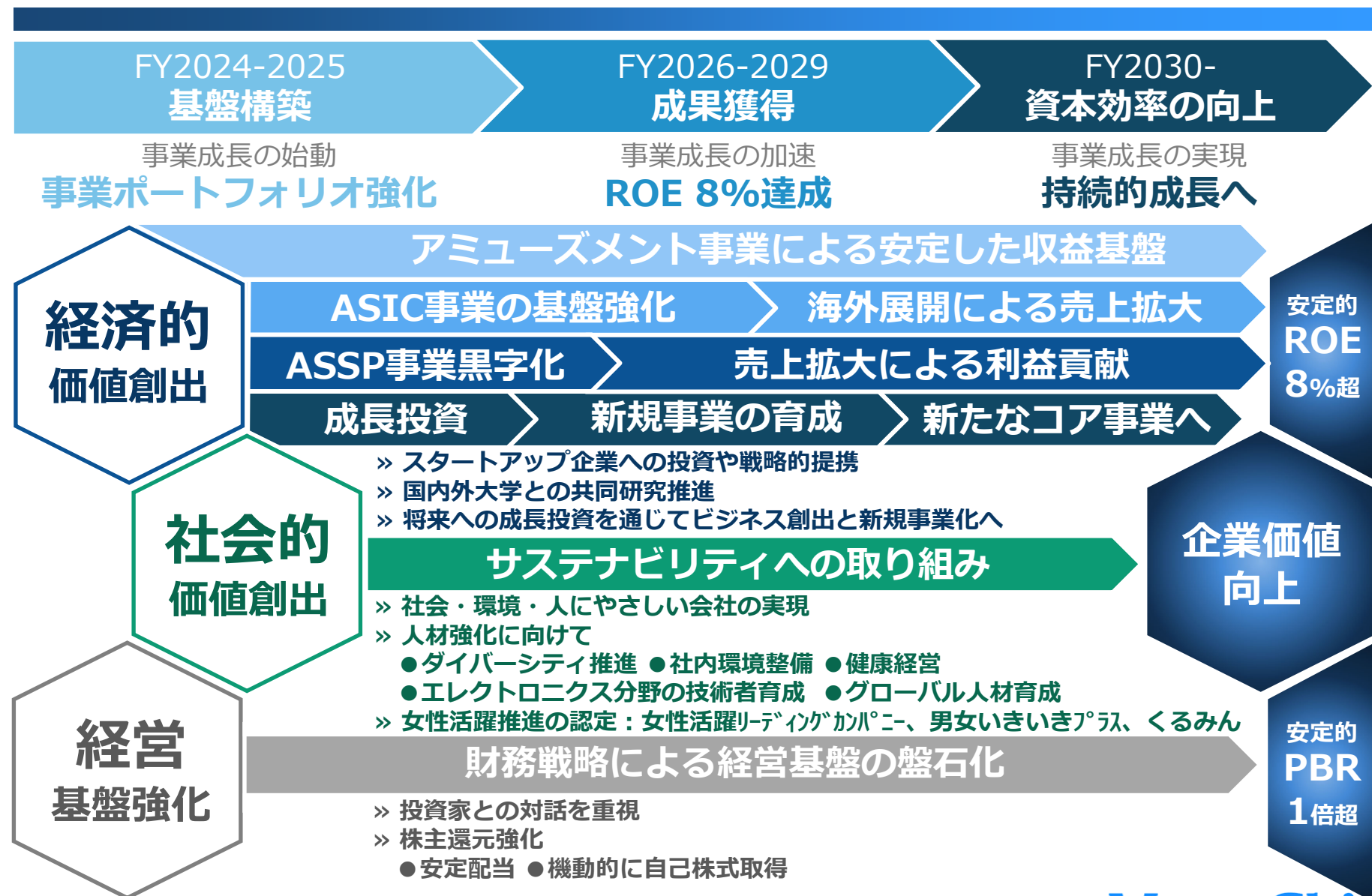
- 営業利益増に対して営業外利益の前期比減を見込む

純利益 前年同期比
▲13億円 (▲25.5%)

- SiTime社株式の一部売却により、特別利益として投資有価証券売却益を約35億円見込む(昨年度は、SiTime社の有価証券売却益77億円を計上)

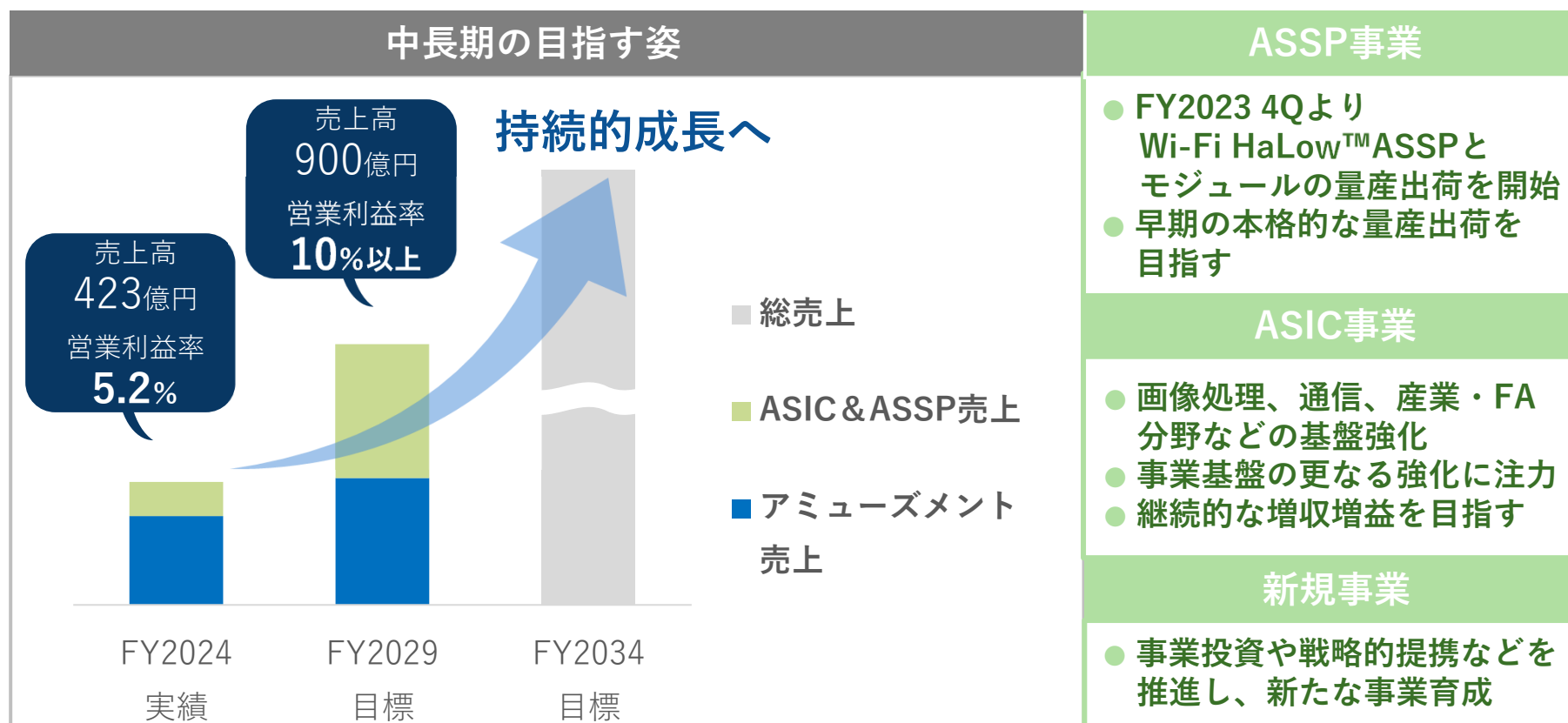
2026年3月期・中長期経営方針

中長期経営方針



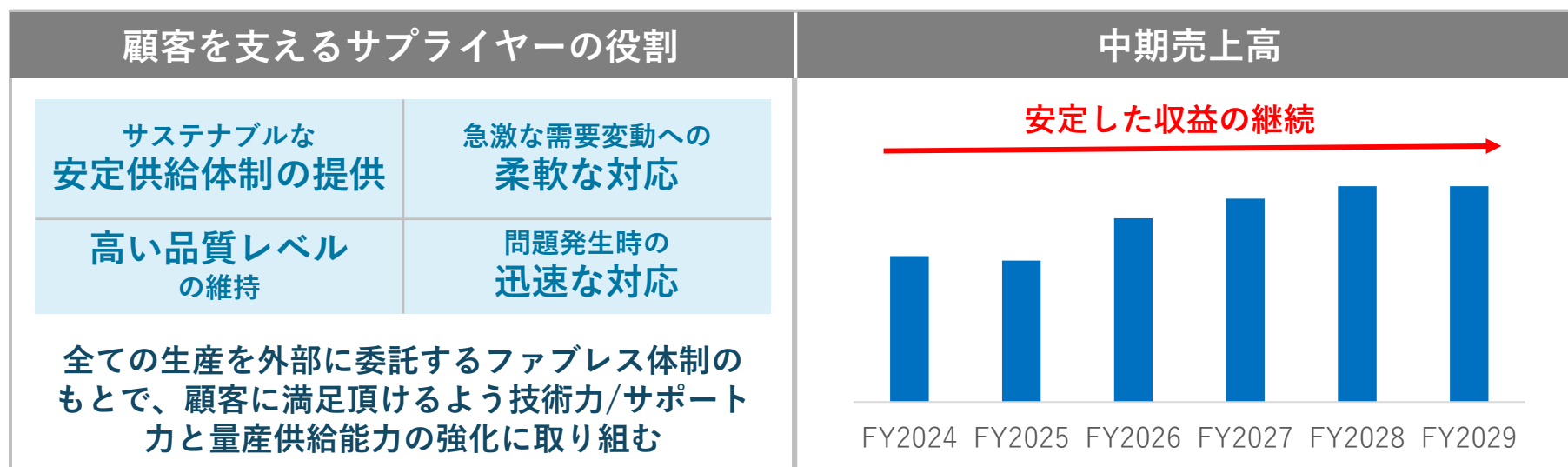
中長期経営方針

主力既存事業であるアミューズメント事業とASIC事業の事業基盤を強化しつつ、ASSP事業に経営資源を投下し、収益事業への育成を加速。更に、第4の新規事業の探索と育成に取組み、中長期における事業ポートフォリオ拡大を推進。



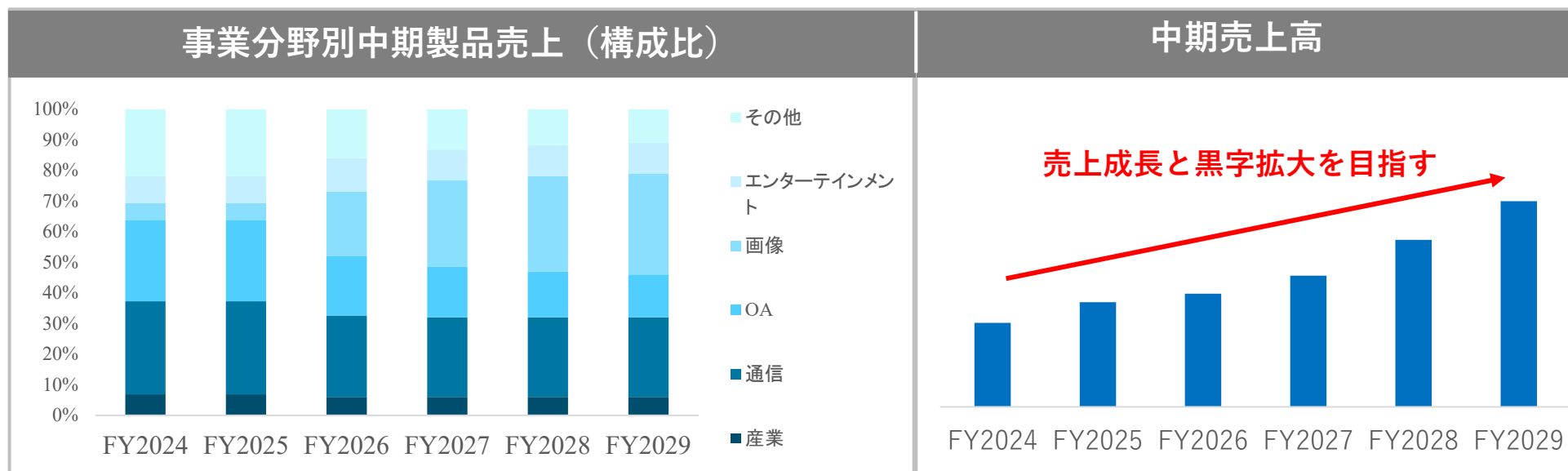
中長期計画（アミューズメント事業）

事業の強み	市場環境	中長期の取り組み
● 顧客密着型の提案活動とサポート体制を継続し、顧客・関連サプライヤーと良好かつ緊密な関係を維持 ● 顧客の要望に沿った調達量の確保	● 顧客の需要が、短期間で大きく変化する市場	● 主力事業として事業基盤を盤石化 ● 顧客・関連サプライヤーとの良好かつ緊密な取引関係を強化 ● 技術力、解析力の強化で、より高いレベルの品質を提供 ● 次世代ゲーム機ビジネスでの製品供給 ● 顧客に供給する製品の量産化 ● 継続的なシェア獲得



中長期計画（ASIC事業）

事業の強み	市場環境	中長期の取り組み
● 顧客の課題を解決する優れたソリューション提案力と技術力 ● ワンストップの顧客サポート力	● AI技術やIoT技術の急速な進展 ● 産業機器分野における自動化・スマート化や通信インフラ機器等で半導体需要の拡大	● 顧客ニーズに合わせた最適なソリューションを提案 ● 高速通信アナログ回路・暗号化、画像処理などの技術競争力を強化 ● 設計効率化によるコスト低減・開発期間短縮 ● 海外顧客開拓を強化し、グローバルな市場で成長



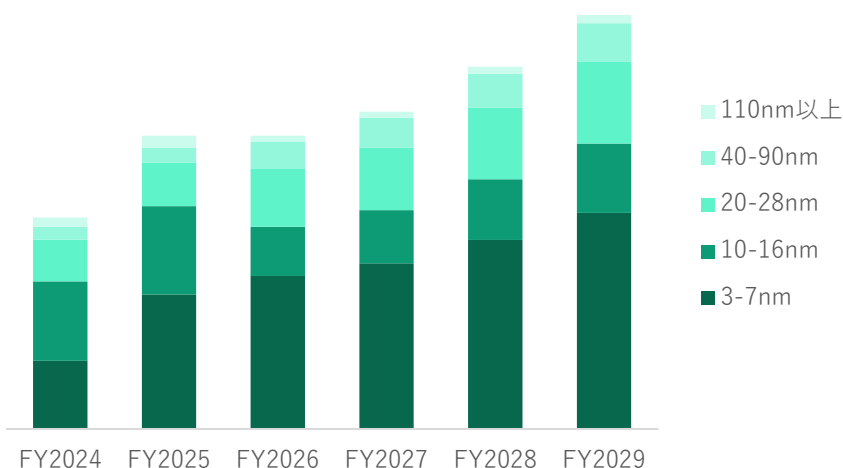
中長期計画（ASIC事業）

受託売上(NRE)の受注から量産までのイメージ

1 年目 2 年目 3 年目 4 年目 5 年目 6 年目 7 年目 以降



受託売上(NRE)のプロセスノード推移



中長期で先端プロセスの比率が上昇

中長期で目指す姿

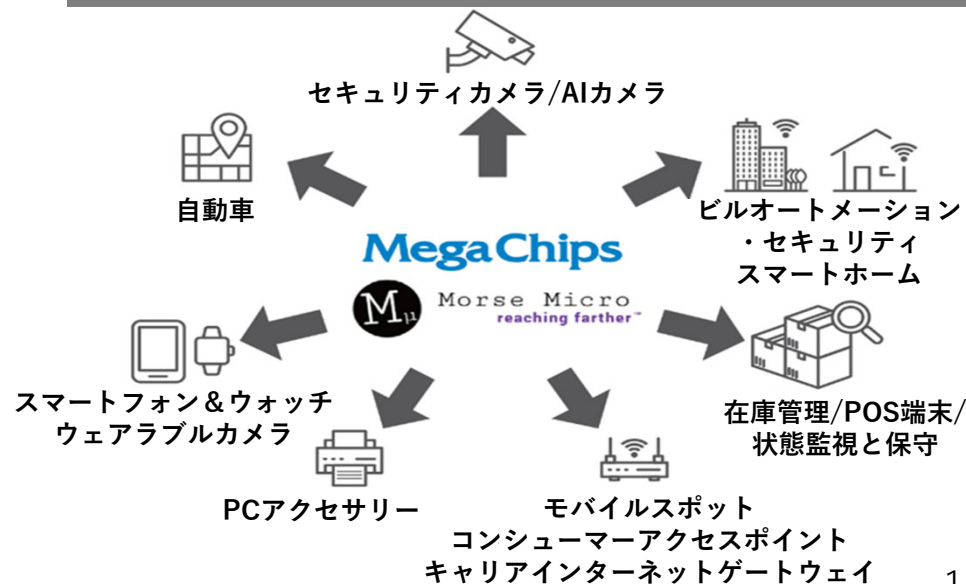
成長分野の受託売上（NRE）を積極的に獲得して量産品の収益拡大を目指す

- 海外NREの比率を大きく伸ばす
- 画像処理分野でリーディングカンパニーとなる
- 産業機器分野で国内主要FA顧客から安定したNRE獲得
- 通信分野で高速化を強みとして新規顧客からNRE獲得

中長期計画（ASSP事業）

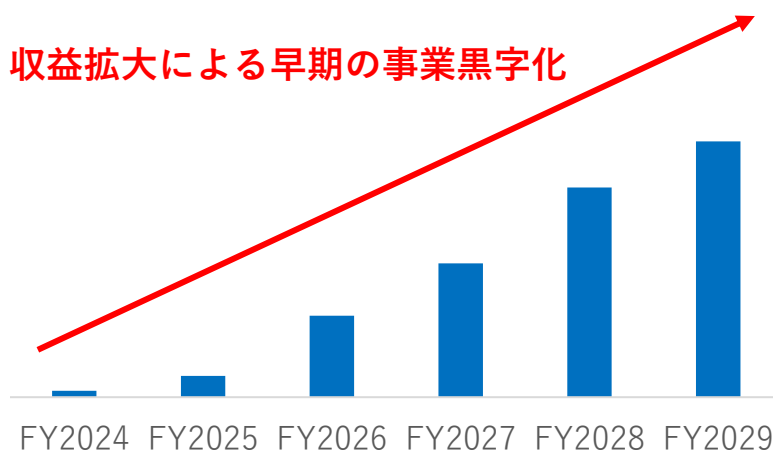
事業の強み	ターゲット分野	中長期の取り組み
Morse Micro社との資本提携及び戦略的パートナーシップにより、長距離無線通信技術を活用したASSP／モジュール製品の提供	- スマート工場 - ホーム／オフィスネットワーク - 物流／輸送管理 - 遠隔監視カメラ 等々	- 事業の早期立ち上げ - 顧客デザインイン件数の拡大に集中 - 海外（北米、アジア）での事業立上げ 2024年度から本格量産に向けたサポート体制強化

通信ソリューションのユースケース



中期売上高

収益拡大による早期の事業黒字化

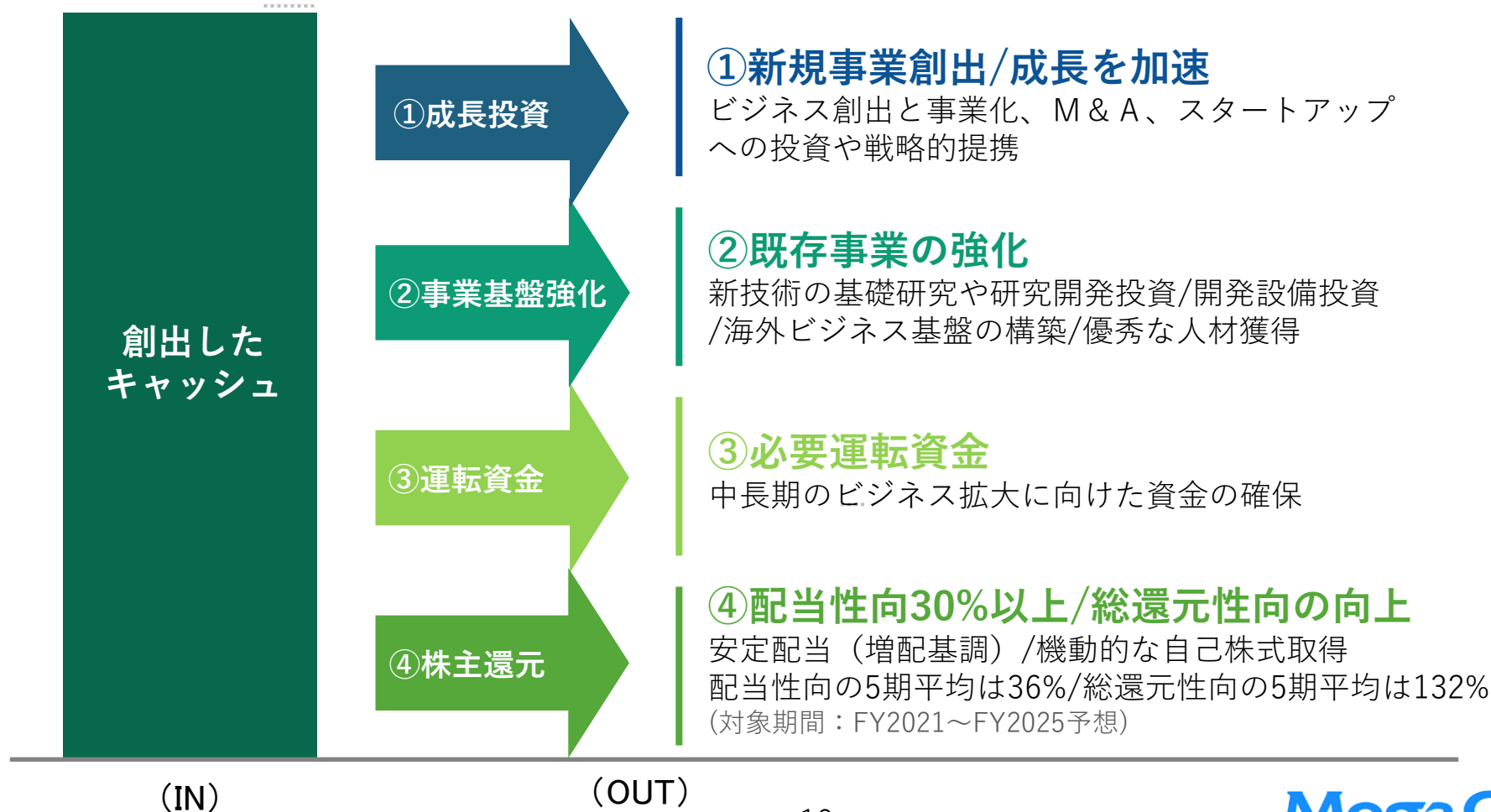


MegaChips

キャピタルアロケーション

最適な資本配分により**持続的な企業価値の向上**を目指す

- ◆ SiTime株式を活用し、戦略的成長投資と株主還元を積極的に推進
- ◆ 営業CFは事業基盤の強化と株主還元に充当し、安定的な成長を実現

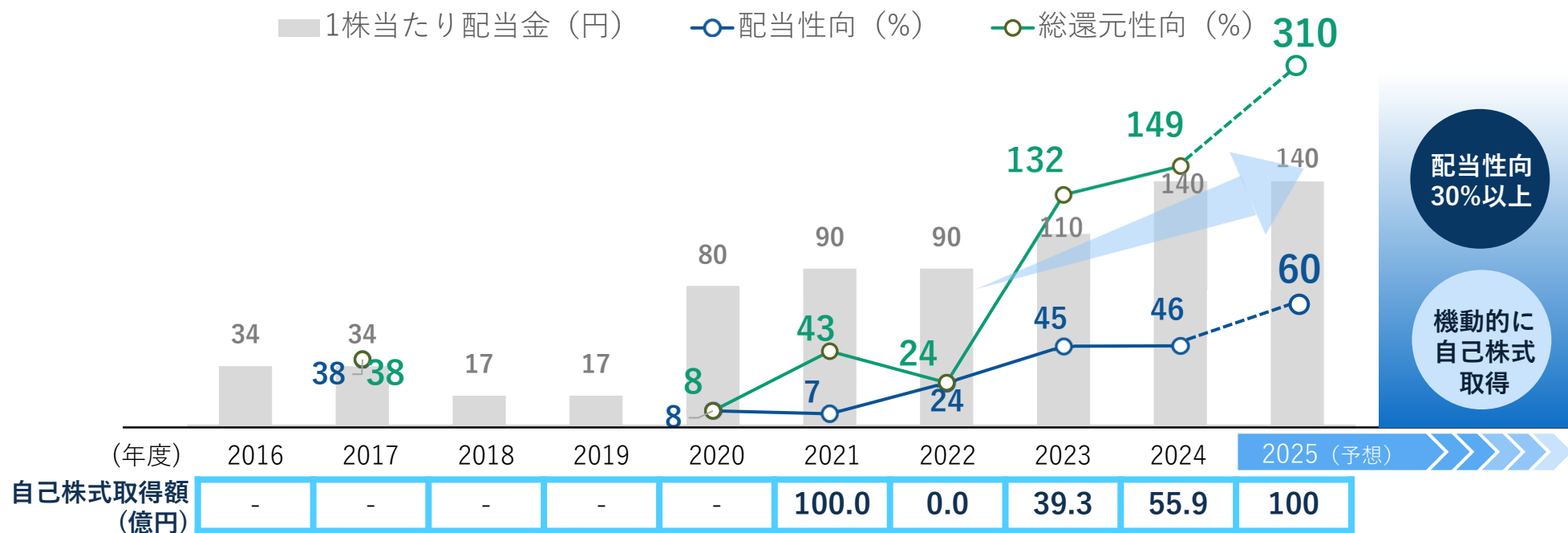


株主還元

FY2025
株主還元

配当予想
140円 / 1株当たり
(参考：昨年度 140円/1株当たり)

自己株式取得
100億円
実施予定



※2025年度予想の配当性向/総還元性向には自己株式取得（予定）に係る流通株式数減少の影響は含めておりません

IRポリシー

≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組めます。

≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えと考えられる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えと考えられる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (T D n e t) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。
また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

IRポリシー

≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ I R 沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス

財務部

お問い合わせ

<https://www.megachips.co.jp/inquiry/contact/>

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1－1 新大阪阪急ビル

TEL：06 - 6399 - 2884(代) FAX：06 - 6399 - 2886